衆議院議員石川知裕君提出矯正施設における医療体制等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。
一について

平成二十五年二月五日付け北海道新聞朝刊に御指摘の記事を掲載されたこと及びその記事の内容について

は承知している。

三及び三について

網走刑務所において一か月で三人の受刑者が疾病により死亡したことについて、当所及びその記事の内容について

は承知している。

同刑務所においては、平成三十二年三月三十日から、医療業務に従事する医師等（医師及び歯科医師をい

う。以下同じ。）である常勤の職員の現員が零人となっているが、医療業務に従事する医師等である非常

勤の職員による診療を行うことなどにより、被収容者に対して適切な医療上の措置を講じており、常勤の

職員である医師等の現員が零人であったことと今般の受刑者の死亡との間に関連性は認められないものと

認識している。いずれにせよ、今後とも適切な医療管理体制の整備に努めてまいりたい。

四及び十一について

矯正施設（刑事施設、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院をいう。以下同じ。）に勤務し、医療業務に
従事する医師等である常勤の職員（以下「常勤医師等」という。）の定員については、各矯正施設においては、被収容者の収容状況、医療上の需要等、諸般の事情を総合的に勘案して定めており、また、必要な場合に
は、矯正施設に勤務し、医療業務に従事する医師等である常勤の職員又は矯正施設の長が必要に応じて
嘱託した職員でない医師等による診療を行うなどしており、これらにより、被収容者に対し、社会一般の
保健衛生及び医療の水準に照らし適切な保健衛生上及び医療上の措置を講じている。今後とも、常勤医師
等の適正な配置に努めてまいりたい。

五について

平成二十四年四月一日現在、網走刑務所以外に、当該矯正施設内に設置された診療所の運営が民間の医
療機関等に委託され、医師等が常勤勤務している矯正施設は二十二施設であり、当該矯正施設
現員が零人となっている矯正施設は二十二施設であり、当該矯正施設について、①名称、②収容定員、③
収容人員（平成二十四年三月三十一日現在の速報値、④常勤医師等の定員並びに⑤現員が零人となった
年月日及び当該日以降に病死又は老衰による死亡をいう。以下同じ。）をした被収容者の人数は以下
のとおりである。なお、⑤について、支所の設置された刑事施設において病死をした被収容者の人数に

二
ついては、本所及び支所の合計のみを把握しているため、支所のみにおける人数を示すことはでき
ない。

1 札幌拘留支所
2 二百二十二
3 百八十五人
4 一人
5 平成二十四年三月三十一日

1 水戸拘留支所
2 二百五十七
3 百六十五人
4 一人
5 二月二十一日

1 佐世保拘留所
2 二百八十五人
3 一人
4 一人
5 平成二十三年三月三十一日
①名称、②収容定員及び③収容人員 平成二十四年三月三十一日現在の速報値は以下のとりであるが、
また、同様に常勤医師等の定員が零人である矯正施設は百三十八施設であり、
当該矯正施設について、

①八街少年院 ②百五人 ③四十六人 ④一人 ⑤平成二十四年三月三十一日 零人
①豊岡学園 ②百六十人 ③九十八人 ④四人 ⑤平成二十四年三月三十一日 零人
①人吉農芸学院 ②二十四人 ③五人 ④四人 ⑤平成二十四年六月三十日 零人
①新潟少年鑑別所 ②二十一人 ③三人 ④四人 ⑤平成二十四年二月二十九日 零人
①義高松少年鑑別所 ②五十二人 ③二十四人 ④三人 ⑤平成二十四年三月三十一日 零人
①高松少年鑑別所 ②九十八人 ③三人 ④四人 ⑤平成二十四年三月三十一日 零人
①仙台少年鑑別所 ②五十七人 ③三人 ④四人 ⑤平成二十四年三月三十一日 零人
米沢拘置支所

1大田原拘置支所
①
②
③
④
⑤

2下妻拘置支所
①
②
③

3足利拘置支所
①
②
③

4百二十三支所
①
②
③

5四十一支所
①
②
③

6五十八支所
①
②
③

7五十支所
①
②
③

8四十五人
①
②
③

9二十八人
①
②
③

10十五人
①
②
③

11十人
①
②
③

12大田原拘置支所
①
②
③

13下妻拘置支所
①
②
③

14足利拘置支所
①
②
③

15百二十三支所
①
②
③

16四十一支所
①
②
③

17五十八支所
①
②
③

18五十支所
①
②
③

19十五人
①
②
③

20十人
①
②
③

21米沢拘置支所
①
②
③

22下妻拘置支所
①
②
③

23足利拘置支所
①
②
③

24百二十三支所
①
②
③

25四十一支所
①
②
③

26五十八支所
①
②
③

27五十支所
①
②
③

28十五人
①
②
③

29十人
①
②
③

30米沢拘置支所
①
②
③

31下妻拘置支所
①
②
③

32足利拘置支所
①
②
③

33百二十三支所
①
②
③

34四十一支所
①
②
③

35五十八支所
①
②
③

36五十支所
①
②
③

37十五人
①
②
③

38十人
①
②
③

39米沢拘置支所
①
②
③

40下妻拘置支所
①
②
③

41足利拘置支所
①
②
③

42百二十三支所
①
②
③

43四十一支所
①
②
③

44五十八支所
①
②
③

45五十支所
①
②
③

46十五人
①
②
③

47十人
①
②
③

48米沢拘置支所
①
②
③

49下妻拘置支所
①
②
③

50足利拘置支所
①
②
③

51百二十三支所
①
②
③

52四十一支所
①
②
③

53五十八支所
①
②
③

54五十支所
①
②
③

55十五人
①
②
③

56十人
①
②
③

57米沢拘置支所
①
②
③

58下妻拘置支所
①
②
③

59足利拘置支所
①
②
③

60百二十三支所
①
②
③

61四十一支所
①
②
③

62五十八支所
①
②
③

63五十支所
①
②
③

64十五人
①
②
③

65十人
①
②
③

66米沢拘置支所
①
②
③

67下妻拘置支所
①
②
③

68足利拘置支所
①
②
③

69百二十三支所
①
②
③

70四十一支所
①
②
③

71五十八支所
①
②
③

72五十支所
①
②
③

73十五人
①
②
③

74十人
①
②
③

75米沢拘置支所
①
②
③

76下妻拘置支所
①
②
③

77足利拘置支所
①
②
③

78百二十三支所
①
②
③

79四十一支所
①
②
③

80五十八支所
①
②
③

81五十支所
①
②
③

82十五人
①
②
③

83十人
①
②
③

84米沢拘置支所
①
②
③

85下妻拘置支所
①
②
③

86足利拘置支所
①
②
③

87百二十三支所
①
②
③

88四十一支所
①
②
③

89五十八支所
①
②
③

90五十支所
①
②
③

91十五人
①
②
③

92十人
①
②
③

93米沢拘置支所
①
②
③

94下妻拘置支所
①
②
③

95足利拘置支所
①
②
③

96百二十三支所
①
②
③

97四十一支所
①
②
③

98五十八支所
①
②
③

99五十支所
①
②
③

100十五人
①
②
③

101十人
①
②
③

その他の
<p>| | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>一宮拘留所</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>六十人</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>三十人</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>七尾拘留所</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>五十人</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>三人</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>魚田拘留所</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>三十人</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>岐阜拘留所</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>五十人</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>三十人</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>十三人</td>
<td>9</td>
</tr>
</tbody>
</table>
① 梅子拘置支所
② 五十人
③ 十六人

① 半田拘置支所
② 四十人
③ 十九人

① 横手拘置支所
② 百八人
③ 九十七人

① 丸ノ内拘置支所
② 百六十一人
③ 百一人

① 津本拘置支所
② 三十八人
③ 十三人

① 新宮拘置支所
② 二十五人
③ 一人

① 蓮尾拘置支所
② 三十九人
③ 一人

① 舞鶴拘置支所
② 三十七人
③ 十二人

① 堺拘置支所
② 百八十一人
③ 百一人

① 岸和田拘置支所
② 三十四人
③ 十七人

① 彦根拘置支所
② 百八十一人
③ 十七人

① 歌舞伎問置支所
② 三十七人
③ 十二人

九
① 大洲拘置支所
② 二十九人
③ 十二人

① 滝田拘置支所
② 二十五人
③ 十一人

① 百二十三人
② 四十五人
③ 十三人

① 西条刑務支所
② 丸亀拘置支所
③ 二十人

① 今治拘置支所
② 八十八人
③ 九十二人

① 宇和島拘置支所
② 四十五人
③ 九十七人

① 下関拘置支所
② 二十五人
③ 十人

① 福山拘置支所
② 三十人
③ 二十七人

① 萩拘置支所
② 二十一人
③ 十人
<table>
<thead>
<tr>
<th>位置</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>中村拘置支所</td>
<td>三十人</td>
</tr>
<tr>
<td>天草拘置支所</td>
<td>二十人</td>
</tr>
<tr>
<td>八代拘置支所</td>
<td>六十四人</td>
</tr>
<tr>
<td>五島拘置支所</td>
<td>六人</td>
</tr>
<tr>
<td>島原拘置支所</td>
<td>三人</td>
</tr>
<tr>
<td>長崎拘置支所</td>
<td>二人</td>
</tr>
<tr>
<td>坂崎拘置支所</td>
<td>二人</td>
</tr>
<tr>
<td>田川拘置支所</td>
<td>十三人</td>
</tr>
<tr>
<td>久留米拘置支所</td>
<td>十三人</td>
</tr>
<tr>
<td>飯塚拘置支所</td>
<td>四十七人</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
① 秋田少年鑑別所
② 二十三人
③ 一人

① 盛岡少年鑑別所
② 十九人
③ 三人

① 青森少年鑑別所
② 二十四人
③ 二人

① 釧路少年鑑別所
② 二十五人
③ 三

① 旭川少年鑑別所
② 十六人
③ 五

① 函館少年鑑別所
② 九人
③ 十

① 鳥取少年鑑別所
② 四十四人
③ 十

① 大島拘置支所
② 二百九十九人
③ 百人
<table>
<thead>
<tr>
<th>市名</th>
<th>学校名</th>
<th>人数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>大津少年鑑別所</td>
<td>25人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>津少年鑑別所</td>
<td>3人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>甲府少年鑑別所</td>
<td>20人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>長野少年鑑別所</td>
<td>25人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>宇都宮少年鑑別所</td>
<td>9人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>山形少年鑑別所</td>
<td>20人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>水戸少年鑑別所</td>
<td>30人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>芦屋少年鑑別所</td>
<td>30人</td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>四十人</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>十九人</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>三人</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>奈良市</td>
<td>二人</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>東京婦人補導所</td>
<td>東京婦人補導所</td>
</tr>
<tr>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
</tr>
<tr>
<td>①</td>
<td>京都市少年鑑別所</td>
<td>京都市少年鑑別所</td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td>三十人</td>
<td>四十人</td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td>一人</td>
<td>一人</td>
</tr>
</tbody>
</table>
六について

人権とは、一般に、人間が人間として生まれながらに持っている権利を意味するものとされていると承

七及び九について

矯正施設においては、被収容者の処遇はその人権を尊重しつつ行うべきであり、また、被収容者に対し、

社会一般の保健衛生及び医療の水準に照らし適切な保健衛生上及び医療上の措置を講ずるべきものと考え

ている。

八について

お尋ねの趣旨が明らかではない。

お答えすることは困難である。

十について

常勤医師等の欠員が生じている矯正施設における医療に関する民間の医療機関等との協議会の開催、

大学病院の医局等に対する医師等の派遣の要請、インターネット等を利用した医師等の公募等を行っているところである。